

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百六十九號

昭和十六年四月十二日(土)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房第一九四九號

當分ノ間支那若ハ支那沿岸又ハ北緯三十度以南ノ地域

(臺灣本島及澎湖列島ヲ除ク)ニ在ル艦船部隊(特設ノモノヲ含ム)以下

之ニ同シ)ニ勤務スル者ニシテ糧食ノ支給ヲ受クル者

ニハ混汗用ビタミン(B)食日額〇・一瓦ヲ給スルコト

ヲ得

南洋群島中東經百六十五度以東ノ地域ニ在ル艦船部隊

ニ勤務スル者(食料ノ支給ヲ受クル者ヲ含ム)ニハ前

項ニ依ルノ外日額ビタミン(A)食一瓦及混汗用ビタ

ミン(C)食〇・二瓦ヲ給スルコトヲ得

昭和十二年官房第四一一二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年四月十二日

海軍大臣

(参照) 昭和十二年官房第四一一二號 同年八月七日海軍公報

官房機密第三一六八號

左表ニ依リ海軍砲術學校特修科學生ヲ採用ス

昭和十六年四月十二日

海軍大臣

特修科目	對空對水上射擊術												
修學場所	海軍砲術學校												
採用員數	<table border="1"> <tr> <td>横須賀</td> <td>吳</td> <td>佐世保</td> <td>舞鶴</td> </tr> <tr> <td>鎮守府</td> <td>鎮守府</td> <td>鎮守府</td> <td>鎮守府</td> </tr> <tr> <td>二〇</td> <td>一五</td> <td>一五</td> <td>五</td> </tr> </table>	横須賀	吳	佐世保	舞鶴	鎮守府	鎮守府	鎮守府	鎮守府	二〇	一五	一五	五
横須賀	吳	佐世保	舞鶴										
鎮守府	鎮守府	鎮守府	鎮守府										
二〇	一五	一五	五										
採用資格	掌砲兵又ハ掌測的兵出身ノ兵科特務士官又ハ准士官ニシテ對空對水上射擊術ヲ修習セシムルニ適スル者												
入校期日	昭和十六年六月上旬												
修業期間	約四月 但シ昭和十六年九月末日迄ニ終業ノコト												

海軍公報 (部内限) 第三千七百六十九號

昭和十六年四月十二日

四五九

○通牒

官房第一九五〇號

昭和十六年四月十二日

海軍次官

關係各廳長殿

免稅協定兵器ニ關スル件通牒

昭和三年官房第一四四〇號ヲ以テ大藏次官ト協定ノ關稅定率法第七條第三號該當兵器ノ解釋及輸入手續ニ關シ左記ノ通改正方協定致候

追テ本件ハ本年二月十五日以降輸入ノモノニシテ納稅未濟ノモノニ付テモ免稅ノコトニ協定濟ニ候

記

(丁) 特種兵器ノ部中第一三號化學兵器類括弧内「テ

キサコエイヤプレーンオイル、スタナボアピエー

シヨソイル」ヲ「航空機用特種潤滑油」ニ改メ

同部第二三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二四、鑿井機

(會計法規集下卷五八二頁參照)

官房第一九五一號

昭和十六年四月十二日

海軍次官

各廳長殿

國債買入ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏次官ヨリ依頼有之候ニ付テハ可然勸奨方取計相成度

(別紙)

藏理第三六五八號

昭和十六年四月二日

大藏次官 廣瀬 豊作

海軍次官 豊田貞次郎殿

國債ノ消化ニ關シテハ毎回多大ノ御配慮相煩シ以御蔭良好ナル成績ヲ收メ居リ候ハ邦家ノ爲洵ニ慶賀ノ至ニ存候

御承知ノ如ク今次事變費ノ主要財源ハ之ヲ支那事變國債ニ仰ギ其ノ發行モ事變處理ノ進展ニ伴ヒ相當多額ニ上リ候ヘバ國債消化ノ萬全ヲ圖ルハ事變下我國財政經濟ノ運營上、延テハ事變處理ノ完遂、大東亞共榮圈ノ確立ヲ期スル上ニ於テ缺クベカラザル處ニ有之候就テ



ハ來ル四月二十一日ヨリ五月二日迄第二十一回支那事變國債郵便局賣出ヲ行フモトト相成候ニ付テハ貴管下各方面ニ對シ右國債ノ買入勸奨方何分ノ御配慮相煩度此段及御依頼候也

人祕第四號ノ三四  
昭和十六年四月十二日

海軍省 人事局長

各廳長 殿

支那事變功績概見表ニ關スル件照會

首題ノ件自今左記ニ依リ調製所屬長官經由進達相成度

一、調製

特ニ照會ナキ限り毎年二回、五月三十一日及十一月三十日現在ニ於テ過去六ヶ月分ニ對スルモノヲ調製シ(第九回ニ限り自昭和十五、十一、十五、三十一トス)徵備船舶及拿捕船行動摘要表(昭和十四、四、二十海軍公報人祕四頁參照)ヲ添付ス  
尙主要作戰參加ノ艦船部隊ハ別ニ各作戰毎ニ該期間ノ分ヲ其ノ都度調製シ特ニ拔群ノ功績者アリタル場合ハ別紙書式ニ據ル調書ヲ作製シ之ニ添付スルモノ

トス

二、様式

支那事變第四回以降功績概見表(昭和十三、十一、十二海軍公報人祕五、一、六、十二支那事變功績關係發付書類抜萃四四頁參照)ニ同シ

三、進達(到達)

調製期日經過後二ヶ月以内トス(別紙添)

○ 辭令

- 海軍大將 永野 修身
- 海軍中佐 末澤 慶政
- 海軍中佐 鹿 江 隆
- 海軍中佐 堀之内 美義
- 海軍中佐 田 代 格
- 海軍武功調査委員長ヲ命ス(海軍省)
- 第二課勤務ヲ命ス
- 第四課勤務ヲ命ス
- 第一課勤務ヲ命ス
- 第四課勤務ヲ命ス(以上ハ海軍省軍務局)

海軍公報(部内限)第三千七百六十九號

昭和十六年四月十二日

四六一

(各通) 海軍大佐 居谷 吉春  
海軍主計大佐 満山 正己  
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(謂海軍航空本部)

海軍中佐 佐藤 佐(艦本)  
同 鈴木 正明(宇治)  
海軍中尉 曾木 義雄(同)  
海軍機關少佐 山上 實(艦本)  
海軍機關大尉 有馬 康郎(宇治)  
海軍造船少佐 富田 範郎(艦本)  
海軍豫備中尉 松本 定義(宇治)  
海軍技師 中村 榮(艦本監)

同 石橋 福次(同)  
同 小野寺 廣介(同)  
軍艦宇治審議委員ヲ命ス  
海軍大佐 水井 靜治(艦本)  
海軍中佐 新谷 喜一(谷風)  
海軍大尉 佐藤 文雄(同)  
同 伍賀 守雄(同)  
海軍機關大佐 大江 秀三(艦本)  
海軍機關中佐 山内 正次郎(艦本監)

(各通) 海軍機關少佐 香春 博(谷風)  
海軍造船少佐 近藤 忠夫(艦本)  
海軍技師 中村 榮(艦本監)  
同 小見川 信(同)

驅逐艦谷風審議委員ヲ命ス  
海軍中佐 古閑 孫太郎(野分)  
同 田中 正雄(艦本)  
海軍少佐 河村 富良夫(舞鎮)  
海軍大尉 黒木 實視(野分)  
海軍中尉 川原 利壽(同)  
同 青木 厚一(同)

(各通) 海軍機關中佐 増井 三十四(舞廠)  
同 水越 正作(舞鎮)  
海軍機關少佐 宇都 政男(野分)

驅逐艦野分審議委員ヲ命ス(以上均海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅潛艇變更  
第二驅潛隊司令ハ四月四日司令驅潛艇ヲ第十三號驅潛艇ヨリ第十五號驅潛艇ニ變更セリ

○開設  
横須賀潜水艦基地隊ヲ四月一日横須賀防備隊構内ニ開設事務ヲ開始セリ

○事務所設置  
小松島海軍航空隊(假稱)設立準備委員事務所ヲ四月一日吳海軍航空隊内ニ設置シ事務ヲ開始ス

○學生入校期日  
今期任命豫定ノ本校甲種學生、特修科學生及機關學生ハ左記ニ依リ入校式施行ニ付同時刻迄ニ入校セシメラ

特修科學生 四月十九日 ○九〇〇  
機關學生 五月二日 ○九〇〇  
甲種學生 (海軍潜水學校)

○正誤  
昨十二日辭令欄中「根本茂樹」ハ「根來茂樹」ノ誤



(別紙)

年 月 日

(昭和十六年四月十二日海軍公報(部内限))

功 績 拔 群 者 調 書

所 轄 長 官 氏 名 團

入 籍 番 號 官 (職) 氏 名

(用紙美濃野紙)

出 生 年 月 日

参 加 作 戦 名	總員對功績調書 登載者員數比率	主 要 功 績 事 項
-----------	--------------------	-------------

備 考

- 一、本表ハ金鷲勳章敍賜規程第十六條乃至第八十條該當者又ハ之ニ準ズル者ノミヲ登載連綴スルモノトス
- 二、記註ニ關シテハ見認證書ニ準ズ

○ 艦船所在

▲印ハハハハハハノ  
指定ヲ要セズ

○ 四月十二日午前十時

【横須賀】

春日▲、口赤城▲、劍崎▲、口香取▲、口瑞穂▲、  
蒼龍▲、口陸奥▲、長門▲、口比叡▲、口高雄▲、  
愛宕▲、摩耶▲、駒橋▲、五十鈴▲、口嚴島▲、

▽那珂▲、▽迅鯨

五月雨、村雨、口響、雷▲、電▲、峯雲、

山雲、夏雲

伊一七▲、口伊一二四、伊一二三

哨一▲

宗谷、知床

(翔鶴)▲(津輕)▲(伊二三)▲(伊三三)▲

(伊三七)▲

國後▲、▽多摩▲

口嵐▲、萩風、沖風▲、口沙風、帆風、口潮

曉、曙、漣、口大潮、荒潮、滿潮、朝潮

呂六八、伊五▲、伊六▲、伊二二▲

口伊七五▲

口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

口驅潜一、驅潜二、驅潜三、口驅潜一三▲

驅潜一四▲、驅潜一五▲

哨二▲

鳥海

口朝雲、朧、口夕立、春雨

(香椎)▲(筑紫)▲

(濱風)▲(秋雲)▲

【館山】

澤風  
石垣▲  
哨三四▲、哨三五▲

【本斗】

神風、野風、波風、沼風  
淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤▲、  
鳳翔▲、千代田▲、口日向、伊勢、口加古、  
青葉、古鷹、衣笠、口熊野、鈴谷、最上、  
三隈、妙高、鬼怒、初鷹、白鷹

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、口夕霧、天霧、  
狹霧、朝霧、口綾波、磯波、矢風、口早潮、  
夏潮、口雪風、初風、天津風、時津風、  
液、霞、陽炎、不知火、口吳竹、早苗

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、口伊五三▲

伊五四▲、伊五五▲、口伊五六▲、伊五七▲、  
伊五八▲、口伊六一▲、伊六二▲、口伊七〇▲、  
伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、口伊一二二▲

掃一五

口驅潜七、驅潜八、驅潜九

哨四六▲

朝日、問宮、攝津、早瀬、明石、櫻野

(日進)▲(伊二七)▲(伊三五)▲

驅潜一六

球磨▲

舞風、敷波、浦波、黒潮

(宇治)▲(谷風)▲

伊一二一▲

(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二一)▲

【串本】

【大坂】

【神戸】

【浦賀】

海軍公報(部内限)第三千七百六十九號

昭和十六年四月十二日

四六五

【玉】(伊二五)▲(伊三一)▲(伊良湖)▲

【因ノ島】白雲、東雲、叢雲

【佐伯】驅潜五一、驅潜五二、驅潜五三

【舞鶴】吾妻▲、大井▲、利根、筑摩、長良、蒼鷹

薄雲▲、秋風、夕風、太刀風、羽風

呂六三、呂六四、伊五二

【野分】(夕雲)▲

【佐世保】金剛▲、榛名▲、北上▲、飛龍▲、千歲▲、加賀▲

川内▲、阿武隈、霧島、八重山▲、瑞鳳▲

夕月▲、峯風▲、菊月、卯月、若葉、

初春、初霜、子日、有明、白露、時雨、

夕暮、海風、山風、江風、涼風、

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三四▲、

呂三三▲、呂六二▲、呂六〇▲、呂六一▲、

呂六五▲、呂六六▲、呂六七▲、伊五九▲、

伊六〇▲、伊六四▲、伊六五▲、伊六六▲、

伊七三▲

掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、

掃一八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二

野島▲、敷島▲

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【鎮海】芙蓉▲

【作業地】出雲、安宅、橋立、二見、伏見、比良、

熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、

足柄、占守、嵯峨、名取、八丈、

磐手、鹿島、天龍、龍田、沖島、

常磐、夕張、長鯨、神威、能登呂、

由良、那智、羽黒、山城、木曾、勝力、

栗、梅、蓮、刈萱、春風、朝風、旗風、

松風、文月、皐月、水無月、長月、

追風、疾風、夕風、朝風、陸月、如月、

望月、彌生、磯風、浦風、若竹、

伊七、伊一、伊二、伊三、伊七二、

伊七二

鵠、鴻、隼、鴨、雁、鳩、鷺、雉、

真鶴、初雁、友鶴、千鳥

掃一七、掃一八

石廊、室戸、鶴見、隠戸、佐多

【航海中】襟裳(三月二十七日吳發、桑港)

驅潜四、驅潜五、驅潜六、驅潜一〇、驅潜一一、

驅潜一二(八日作業地發、舞鶴)

伊八、伊四、伊九、伊一五、伊一六、伊二〇、



(部 内 限)

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百七十號

昭和十六年四月十四日(月)

海軍大臣官房

## ○ 辭 令

(各通)

海軍機關中佐 梶谷 懋雄  
海軍機關大尉 小川 好雄

第二課勤務ヲ命ス(海軍省軍需局)

東京軍法會議附錄第二遺支  
艦隊軍法會議附錄海軍警査

竹内 和雄

主トシテ兼務廳ニ於テ服務スヘシ(附東京軍法會議  
首席法務官)

## ○ 雜 款

○司令旗撤去  
第十一掃海隊司令不在中司令旗ヲ四月三日一時撤去セ

○將旗掲揚  
第一航空艦隊司令長官代理ハ四月十日將旗ヲ赤城ニ掲揚セリ

海南警備府司令長官代理ハ四月十日將旗ヲ海口ニ掲揚

セリ

○將旗移揚  
第三遺支艦隊司令長官ハ四月十一日將旗ヲ磐手ヨリ青島方面特別根據地隊ニ移揚セリ

○將旗復歸

第六戰隊司令官ハ四月十日將旗ヲ加古ニ復歸セリ

○代將掲揚

第二十三航空戰隊司令官ハ代將旗ヲ高雄航空隊ニ掲揚セリ

青島根據地隊司令官ハ四月十一日代將旗ヲ青島方面特別根據地隊司令部ニ掲揚セリ

○將旗撤去

舊第八戰隊司令官ハ四月十一日將旗ヲ撤去セリ

○旗艦指定

第四航空戰隊司令官ハ四月十日旗艦ヲ龍驤ニ指定セリ

○旗艦變更

海軍公報(部内限) 第三千七百七十號 昭和十六年四月十四日

四六七

1150

第三航空戦隊司令官ハ四月十日旗艦ヲ瑞鳳ニ變更セリ  
第四潜水戦隊司令官ハ四月十日旗艦ヲ鬼怒ニ變更セリ  
吳防備戦隊司令官ハ四月十日旗艦ヲ金城山丸ニ變更セリ

○司令驅逐艦一時變更  
第二驅逐隊司令ハ四月六日司令驅逐艦ヲ夕立ヨリ村雨ニ變更、同日復歸セリ

○司令潜水艦復歸  
第九潜水隊司令ハ四月九日司令潜水艦ヲ伊號第二百二十四潜水艦ニ復歸セリ

○司令潜水艦變更  
第二十九潜水隊司令ハ四月十日司令潜水艦ヲ伊號第六十二潜水艦ヨリ伊號第六十一潜水艦ニ變更セリ

○書類發送先ニ關スル件  
最近本更津航空廠(假稱)設立準備委員宛書類ヲ海軍航空技術廠本更津出張所へ送付セラルル向アルモ從來通左記へ御送付相成度  
海軍航空技術廠内  
本更津航空廠(假稱)設立準備委員事務所

○事務所設置

德島海軍航空隊(假稱)設稱設立準備事務所ヲ岩國海軍航空隊内ニ設置シ三月二十日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 艦船所在

指定ノ要ニテ

○ 四月十四日午前十時

【横須賀】

春日▲、口赤城▲、劍崎▲、口香取▲、口瑞穂▲、  
口蒼龍▲、口陸奥▲、長門▲、口比叡▲、口高雄▲、  
愛宕▲、摩耶▲、駒橋▲、五十鈴▲、口那珂▲、  
口迅鯨▲、口神威▲

五月雨、村雨、口櫻、雷▲、電▲、峯雲、  
山雲、夏雲

伊九、伊一七▲、口伊一二四、伊一二三

伊一▲、  
宗谷、知床

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、  
(伊三七)▲

【長浦】

國後▲、口多摩▲、  
口嵐▲、萩風、沖風▲、口汐風、帆風、口潮、  
曉、曙、漣、口大潮、荒潮、滿潮、朝潮、  
呂六八、口伊四、伊五▲、伊六▲、口伊二〇、  
伊一八、伊二二▲、口伊七五▲

口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

口驅潜一、驅潜二、驅潜三、口驅潜一三▲、  
驅潜一四▲、驅潜一五▲

哨二▲、  
尻矢

【横濱】

口朝雲、臘、口夕立、春雨  
(香椎)▲、(筑紫)▲

【浦賀】

駿島、  
(濱風)▲、(秋雲)▲

【館山】

石垣▲、  
哨三四▲、哨三五▲

【函館】

大泊、  
口神風、野風、波風、沼風、  
淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤、  
鳳翔、千代田、口日向、伊勢、最上、三隈、  
青葉、衣笠、口熊野、鈴谷、  
妙高、鬼怒、初鷹、白鷹、口鹿島、  
口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、口夕霧、天霧、  
狹霧、朝霧、口綾波、磯波、矢風、口夏潮、  
口雪風、初風、天津風、時津風、霞、不知火、  
口吳竹、早苗、口白雲、東雲、叢雲、  
呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、口伊五三▲、  
伊五四▲、伊五五▲、口伊五六▲、伊五七▲、  
伊五八▲、口伊六一▲、伊六二▲、口伊七〇▲、  
伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、口伊二二三▲、  
掃一五

【小樽】

口驅潜七、驅潜八、驅潜九

【大坂】

朝日、間宮、攝津、早鞆、明石

【神戸】

球磨▲、  
(宇治)▲、(谷風)▲

海軍公報(部内限)第三千七百七十號

昭和十六年四月十四日

四六九

相生

古鷹

神通

親潮

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

佐伯

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

博多

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

鎮海

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

清津

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

作樂地

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

航海中

瑞鶴

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

伊三一

伊一九

伊二二

伊二五

# 海軍公報

(部内限) 第三千七百七十一號

海軍大臣官房

昭和十六年四月十五日(火)

## ○通牒

官房機密第二六一五號ノ三

昭和十六年四月十五日

海軍省 副官

各廳長 殿

侍從武官被差遣ノ件通知

今般狀況實視ノ爲侍從武官城英一郎ヲ馬公要港部、  
二遣支艦隊及海南警備府へ被差遣候趣侍從武官長ヨリ  
通牒有之候

追テ同官ハ四月二十日東京發各部實視ノ上五月二十  
日頃東京歸着ノ豫定

官房第二〇〇一號

昭和十六年四月十五日

海軍省 副官

各廳長 殿

大政翼賛會地方支部顧問就任ニ關スル件  
通牒

海軍公報(部内限) 第三千七百七十一號

昭和十六年四月十五日

四七二

首題ノ件各支部ヨリ委囑アル場合左記ニ依リ受諾差支  
ナキコトト定メラレ候條了知相成度

記

一 各府縣支部顧問

海軍人事部長、地方海軍人事部長(各管轄府縣  
ニ於テ)

二 横須賀、吳、佐世保、舞鶴市支部顧問

各鎮守府或ハ所屬各部中軍政擔任職務ニ在ル課  
長級一名

但シ就任ニ際シ昭和四年達第六十六號ノ手續ハ  
規定通實施ヲ要ス(府縣支部顧問ニ關シテハ昭  
和十五年官房第六五七二號ニヨリ手續済)

## ○辭令

(各通)

通信事務員 町田 重利

集配員 山田 勘一

第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス(海軍省)

海軍公報  
則登載

(部内限)

通信書記 前田 巳登司

第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス(同前同)

同 高見 勇

第九海軍軍用郵便所員ヲ免ス(同前同)

同 神田 三藏

第三海軍軍用郵便所員ヲ命ス

遞信屬 市川 涉

第九海軍軍用郵便所員ヲ命ス(以上同前同)

鎮海要港部經理部 三原 實  
部員海軍主計少佐

艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少佐 奥山 昇

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上謂支用官 海軍省經理局長)

○ 雜 款

○將旗掲揚

第二遣支艦隊司令長官ハ四月十二日將旗ヲ足柄ニ掲揚セリ

第三艦隊司令長官ハ四月十二日將旗ヲ長良ニ掲揚セリ

○司令潜水艦變更  
第二十九潜水隊司令ハ四月十日司令潜水艦ヲ伊號第六十一潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

第二十三航空戰隊司令部宛ノモノハ 高雄海軍航空隊司令部宛  
當分ノ間

第三航空隊宛ノモノハ

高雄海軍航空隊氣付 龜井部隊  
(第二十三航空戰隊司令部)

○事務開始

第一潜水戰隊司令部事務四月十一日軍艦香取(橫須賀)ニテ開始ス  
(第六艦隊)

○事務所撤去

野分艦裝具事務所ヲ四月九日撤去セリ

○開隊

第一航空隊四月十日鹿屋海軍航空隊内ニ於テ開隊ス

海軍少佐從六位萩原 要外一名三月十一日飛行訓練中遭難四月十日殉職、來十七日午後二時ヨリ佛式ニ依リ橫須賀市長長院ニ於テ海軍葬儀執行

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月十五日午前十時

【横須賀】

春日、赤城、劍崎、香取、瑞穂、蒼龍、陸奥、長門、比叡、高雄、愛宕、摩耶、駒橋、五十鈴、那珂、迅鯨、神威、夕張、沖島、五月雨、村雨、響、雷、電、峯雲、山雲、夏雲

伊九、伊一五、伊一六、伊一七、伊一二四、伊一三三、伊一

【長浦】

國後、多摩、萩風、沖風、沙風、帆風、潮、曉、曙、漣、大潮、荒潮、滿潮、朝潮、呂六八、伊四、伊五、伊六、伊二〇、伊一八、伊二三、伊七五、伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五

【横濱】

鳥海、朝雲、艦、夕立、春雨

【浦賀】

（香椎）、（筑紫）、（濱風）、（秋雲）、石垣

【大湊】

哨三四、哨三五

【函館】

神風、野風、波風、沼風、淺間、扶桑、八雲、大鯨、龍驤、鳳翔、千代田、日向、伊勢、加古、青葉、衣笠、熊野、鈴谷、最上、三隈、妙高、鬼怒、初鷹、白鷹、鹿島、長鯨、初雪、吹雪、夕霧、天霧、狹霧、朝霧、綾波、敷波、矢風、夏潮、雪風、天津風、時津風、霞、不知火、吳竹、若竹、早苗、白雲、東雲、叢雲、呂五七、呂五八、呂五九、伊八、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊七〇、伊六八、伊六九、伊七四、伊一三、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

【大坂】

（日進）、（伊二七）、（伊三五）、球磨、舞風、浦波、磯波、黒潮

海軍公報（部内限）第三千七百七十一號

昭和十六年四月十五日

四七三

【神戶】

(宇治)▲(谷風)▲  
伊一二▲  
(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲  
(伊二五)▲(伊三一)▲(伊良湖)▲

【相生】

古鷹  
神通

【因島】

親潮、初風  
早潮、口叢、陽炎  
驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三

【舞鶴】

吾妻▲大井▲▽利根、筑摩、口長良、蒼鷹、  
天龍、龍田  
薄雲▲口秋風、夕風、太刀風、羽風  
呂六三、呂六四、伊五二  
驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二、  
哨三六▲、哨三七▲  
鳴戸

【佐世保】

(野分)▲(夕雲)▲  
金剛▲榛名▲北上▲飛龍▲千歳、▽加賀、  
▽川内、▽阿武隈、霧島、八重山▲、▽瑞鳳、  
常磐、由良  
夕月▲、峯風▲、口菊月、卯月、口若葉、  
初春、初霜、子日、口有明、白露、時雨、  
夕暮、口海風、山風、江風、涼風、  
三日月、口追風、疾風、夕風、朝風、  
口睦月、如月、望月、彌生  
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲

呂三四、口呂六二、呂六〇、呂六一、  
呂六五、呂六六、呂六七、口伊五九▲  
伊六〇▲、伊六四▲、口伊六五▲、伊六六▲  
伊七三▲

掃一三、掃一四、掃一六、口掃七、  
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、  
哨三八▲、哨三九▲

敷島▲、櫻野、室戸

(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【西戸崎】

野島

【鎮海】

芙蓉▲

【作樂地】

口出雲、口安宅、橋立、二見、伏見、比良、  
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、阴田、  
口足柄、古守、嵯峨、▽名取、八丈、磐手、  
能登呂、▽那智、羽黒、山城、木曾、勝力、  
栗、梅、遠、刈萱、口春風、朝風、旗風、  
松風、口文月、皐月、水無月、長月、  
磯風、浦風  
▽伊七、口伊一、伊二、伊三、口伊七二、  
伊七二  
口鶴、鴻、隼、鴨、口雁、鳩、鷲、雉、  
口真鶴、初雁、友鶴、千鳥  
掃一七、掃一八  
石廊、鶴見、隠戸、佐多

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港へ)  
驅潛一六 (十四日博多發—佐世保へ)



(部 内 限)

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百七十二號

昭和十六年四月十六日(水)

## 海軍大臣官房

### ○ 令 達

官房機密第八五七號ノ三

昭和十五年官房機密第七四四五號ノ四ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年三月三十一日

海 軍 大 臣

(参照) 昭和十五年官房機密第七四四五號ノ四ハ第十三號顯濃艦機  
須賀防備隊隊編入中ノ經費掌理ノ件ナリ

官房機密第二八〇一號ノ二

海軍軍用郵便所過剩金ヲ海軍經費ニ振替手續左ノ通改  
正シ昭和十六年二月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年四月一日

海 軍 大 臣

海軍軍用郵便所過剩金ヲ海軍經費ニ振替  
手續

第二條 第四艦隊並ニ第一、第二、第三遣支艦隊及支  
那方面艦隊所屬海軍軍用郵便所通信吏ハ其ノ取扱ニ

係ル受拂金ニ過剩ヲ生ジタルトキハ別紙第一號書式

ノ振替送金證ヲ添ヘ當該郵便所若ハ同派出所設置艦

船(部隊)出納官吏又ハ最寄艦船(部隊)出納官吏

ニ拂込ムモノトス

第二條 前條ニ依リ現金ノ拂込ヲ受ケタル出納官吏ハ

海軍經費ノ前渡資金トシテ之ヲ受入レ左記手續ヲ爲

スベシ

一 第四艦隊所屬艦船(部隊)出納官吏ニ在リテハ

別紙第二號書式ノ振替送金領收證ヲ當該海軍軍用

通信吏ニ交付シ同時ニ振替送金受領通知書並ニ之

ニ相當スル所定ノ經費要求書ヲ海軍省經理局主任

出納官吏ニ送付スルモノトス

二 第一、第二、第三遣支艦隊及支那方面艦隊所屬

艦船(部隊)出納官吏ニ在リテハ別紙第三號書式

ノ振替送金領收證ヲ當該海軍軍用通信吏ニ交付シ

同時ニ振替送金受領通知書並ニ之ニ相當スル所定

ノ經費要求書ヲ第一海軍經理部主任出納官吏ニ送

付スルモノトス

海軍公報(部内限) 第三千七百七十二號 昭和十六年四月十六日

四七五

1158

第三條 海軍軍用通信吏ハ前條ノ振替送金領收證ヲ受

ケタルトキハ左記手續ヲ爲スベシ

一 第四艦隊所屬海軍軍用郵便所通信吏ニ在リテハ該領收證ヲ遞信省貯金局ニ送付スベシ

二 第一、第二、第三遣支艦隊及支那方面艦隊所屬

海軍軍用郵便所通信吏ニ在リテハ該領收證ヲ下關

貯金支局ヲ經由シ遞信省上海電信局ニ送付スベシ

遞信省貯金局ハ海軍省經理局ニ、遞信省上海電信局

ハ第一海軍經理部ニ夫々前項ノ領收證ヲ以テ相當金

額ノ支拂方ヲ請求スルモノトス

第四條 海軍省經理局及第一海軍經理部前條ノ請求ヲ

受ケタルトキハ振替送金受領通知書ト照査ノ上左記

手續ヲ爲スベシ

一 第二條第一號ノ經費ニ在リテハ海軍省經理局主

任出納官吏遞信省貯金局宛小切手(小切手表面欄

内左側下隅ヨリ斜ニ上方ニ向ヒテ二線ヲ畫ス長サ

凡ソ曲尺二寸五分線内ニ振替ノ二字ヲ朱印押捺ス

ルモノトス)ヲ振出シ前條領收證ト引換ニ之ヲ遞

信省貯金局ニ交付スルト同時ニ經費明細仕譯書ヲ

振替送金ヲ受領セル艦船(部隊)出納官吏ニ送付

スルモノトス

二 第二條第二號ノ經費ニ在リテハ第一海軍經理部

主任出納官吏遞信省上海電信局宛小切手(振出様

式前號ニ同シ)ヲ振出シ前條領收證ト引換ニ之ヲ

遞信省上海電信局ニ交付スルト同時ニ經費明細仕

譯書ヲ振替送金ヲ受領セル艦船(部隊)出納官吏

ニ送付スルモノトス

主任出納官吏ハ該領收證ヲ以テ證明ノ用ニ供スル

モノトス

(様式三葉添)

官房機密第三一〇四號

臨時軍事費整理規程中左ノ通改正ス

昭和十六年四月十日

海軍大臣

第一條第二號中「第二艦隊」ヲ「第三、第四、第六艦

隊、第十一航空艦隊」ニ改メ同條第三號ヲ第四號トシ

第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

三 海軍聯合航空隊、海軍練習航空隊

第二條第一號(二)、第三號(二)、第四號(三)、第六號(二)、第

八號(三)及第一一號(一)中「第二艦隊司令部」ヲ「第三、

第四、第六艦隊司令部、第十一航空艦隊司令部」ニ、

「竝ニ第二艦隊」ヲ「竝ニ第三、第四、第六艦隊、第十

一航空艦隊」ニ改ム

同條第一號(三)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ノ職員及同上航空隊ノ飛行練習生ノ俸給、航空加俸、特別加俸竝ニ職務加俸

同條第三號(三)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ヨリノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費竝ニ同上ヘノ赴任旅費、轉勤轉乘旅費

同第三號中(五)ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

(五)ノ二 事變ノ爲特ニ派遣セララル艦船部隊ニ要スル雜給及雜費

同條第四號(四)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ニ要スル糧食費、食料及被服費

同條第六號(三)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ

浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ニ要スル療用品費、藥劑費、傳染病豫防及消毒諸費竝ニ依託患者費

同條第八號(四)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ニ要スル艦營費

同條第一號(二)ヲ左ノ如ク改ム

第十一聯合航空隊司令部、海軍練習航空隊タル霞ヶ浦、横須賀、筑波、鹿島、谷田部、百里原、土浦海軍航空隊ニ要スル接待費

官房第二〇三一號

昭和十四年官房第七三九號中左ノ通改正ス

昭和十六年四月十六日

海軍大臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

附則

本令ハ昭和十六年三月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(參照) 昭和十四年官房第七三九號ハ僻地在勤手當ニ關スル件ナリ

海軍公報(部内限) 第三千七百七十二號

昭和十六年四月十六日

四七七

○ 辭 令

岡野 敏郎

福田 昌次

林 忠男

鈴木 秋太郎

甲斐 逸雄

泉 昇

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス(海軍省)

(各通)

保里 政雄

山本 徳太郎

松田 大九郎

海軍省事務囑託ヲ解ク(海軍省)

海軍少將 福留 繁

海軍學生銓衡委員ヲ命ス

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

軍港要港勢力標準調査委員會委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス

海軍中佐 神川 武夫

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

海軍武功調査委員ヲ命ス

支那事變從軍記章授與調査委員ヲ命ス

海軍中佐 國府田 清

海軍少佐 城野 喬

海軍機關少佐 齋藤 孝吉

海軍造兵大佐 古川 勇

海軍造兵少佐 古川 哲一

海軍用語調査委員會委員ヲ命ス

(各通)

海軍少佐 澁谷 龍稔

海軍技師 千川 芳太郎

海軍用語調査委員會委員ヲ免ス 酒井 直衛

獨國ニ於ケル造船造兵監督事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額六千九百馬克ヲ給シ部内限委任官待遇トス

(各通)

參百八拾貳磅

參百五拾八磅

英國ニ於ケル造船造兵監督事務ヲ囑託ス

廣瀬 昌司

淺井 一三

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通) 遞信省事務官 松田 英一  
遞信技師 吉田 正  
海軍省事務囑託ヲ解ク 杉山 英男

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通) 東北帝國大學教授 渡 邊 寧  
大阪帝國大學教授 淺 田 常三郎

海軍航空技術廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

電氣試験所技師 岡 田 實  
ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

海軍航空技術廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額五百圓ヲ贈與ス(以上同)

(各通) 海軍中佐 國府田 清  
同 能 登 清久

第一課勤務ヲ命ス 海軍機關少佐 齊藤 孝吉

第二課勤務ヲ命ス(以上同) 海軍省兵備局 海軍中佐 辻橋 文吉

海軍公報(部内限) 第三千七百七十二號 昭和十六年四月十六日

四七九

第一課兼第二課勤務ヲ命ス 海軍少佐 澁谷 龍稔

第一課勤務ヲ命ス(以上同) 海軍省教育局 同 城野 喬

○ 雜 款

○正誤  
本月十二日辭令欄中「會木義雄」ハ「曾木義雄」ノ誤

(第一號書式)

第 號

振 替 送 金 證

一 金 何 圓 也

右金額送金候條主任出納官吏ヨリノ前渡資金トシテ領收有之度候也

何年何月何日

(昭和十六年四月十六日海軍公報(部内限))

海軍軍用通信吏

官 氏 名 印

艦船(部隊)出納官吏

官 氏 名 殿

(第二號書式)

(昭和十六年四月十六日海軍公報(部内限))

原	符
第 號	送金局 海軍軍用 通 信 吏
領 收 證	官 氏 名

一金何圓也

何年何月何日

第 號

振替送金領收證

一金何圓也

右金額主任出納官吏ヨリノ振替送金トシテ正ニ領收候也

何年何月何日

艦船(部隊)出納官吏

官 氏 名 印

海軍軍用通信吏

官 氏 名 殿

第 號

振替送金受領通知書

一金何圓也

右金額本日海軍軍用通信吏何某ヨリ振替送金トシテ領收候條及通知候也

何年何月何日

艦船(部隊)出納官吏

官 氏 名 印

海軍省經理局主任出納官吏

官 氏 名 殿

(第三號書式)

(昭和十六年四月十六日海軍公報(部内限))

原		符
第 號	領 收 證	
送 金 局		海軍軍用 通信吏
官 氏 名		

一金何圓也  
何年何月何日

第 號

振替送金領收證

一金何圓也

右金額主任出納官吏ヨリノ振替送金トシテ正ニ領收候也

何年何月何日

艦船(部隊)出納官吏

官 氏 名 印

海軍軍用通信吏

官 氏 名 殿

第 號

振替送金受領通知書

一金何圓也

右金額本日海軍軍用通信吏何某ヨリ振替送金トシテ領收候條及通知候也

何年何月何日

艦船(部隊)出納官吏

官 氏 名 印

第一海軍經理部主任出納官吏

官 氏 名 殿



(別表)

(昭和十六年四月十六日海軍公報(部内限))

區別	場所	月額					
		佐官	尉官 特務士官	准士官 一任文官等	下士官 二任以下	一 等 兵 員	三 等 兵 人
特區	東京府下南島島、千島列島(得撫島以北ノ島嶼)	百圓	八十圓	六十圓	三十圓	二十圓	十五圓
一區	千島列島(特區ニ該當ノモノヲ除ク)、臺灣高雄州新南群島	三十圓	二十五圓	二十圓	十五圓	十一圓	九圓
二區	東京府下大島、東京府下新島、瀧岡縣宗像郡沖ノ島、長崎縣壹岐郡若宮島、長崎縣上縣郡海栗島、長崎縣上縣郡琴崎、長崎縣下縣郡神崎、長崎縣下縣郡郷崎、北海道厚岸郡大黒島	二十二圓	十七圓	十四圓	十一圓	八圓	六圓
三區	宮城縣牡鹿郡金華山、愛媛縣南宇和郡由良岬、大分縣南海部郡鶴見崎、大分縣南海部郡芹崎、佐賀縣東松浦郡馬渡島、長崎縣南松浦郡相島、長崎縣南松浦郡大瀬崎、長崎縣南松浦郡奈良尾、長崎縣西彼杵郡野母崎、鹿兒島縣薩摩郡釣掛、島根縣知夫郡高崎山	十四圓	十二圓	十圓	八圓	六圓	四圓 五十錢
四區	和歌山縣海草郡沖ノ島、和歌山縣海草郡友ヶ島、山口縣豐浦郡蓋井島、山口縣豐浦郡角島、高知縣安藝郡室戸岬、高知縣幡多郡足摺崎、瀧岡縣系島郡烏帽子島、長崎縣北松浦郡的山大島、長崎縣西彼杵郡崎戸崎、長崎縣西彼杵郡大島、長崎縣西彼杵郡呼子崎、長崎縣北松浦郡黒島、長崎縣西彼杵郡大藁島、長崎縣北松浦郡高島、大分縣北海部郡高島、長崎縣北松浦郡宇久島、長崎縣西彼杵郡伊王島、長崎縣西彼杵郡虛空藏山、瀧岡縣宗像郡筑前大島、京都府竹野郡經ヶ岬、京都府加佐郡成生岬、青森縣東津輕郡龍飛、青森縣北津輕郡小泊、北海道松前郡白神	十圓	八圓	六圓	五圓	四圓	三圓



【神戶】

(宇治)▲(谷風)▲  
伊一二一▲  
(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲  
(伊二五)▲(伊三一)▲(伊良湖)▲

【相生】

古鷹  
親潮、初風、時津風  
早潮、口蔽、陽炎

【因島】

驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三  
哨三一、哨三二、哨三三  
吾妻▲、大井▲、利根、筑摩、口長良、蒼鷹、  
天龍、龍田

【舞鶴】

薄雲▲、口秋風、夕風、太刀風、羽風  
呂六三、呂六四、伊五二  
驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二、  
哨三六▲、哨三七▲  
鳴戶

【佐世保】

(野分)▲(夕雲)▲  
金剛▲、榛名▲、北上▲、飛龍▲、千歲、口加賀、  
口川内、口阿武隈、霧島、八重山▲、口瑞風、  
常磐、由良  
夕月▲、峯風▲、口菊月、卯月、口若葉、  
初春、初霜、子日、口有明、白露、時雨、  
夕暮、口海風、山風、江風、涼風、  
三日月、口追風、疾風、夕風、朝風、  
口睦月、如月、望月、彌生  
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、  
呂三四▲、呂六二▲、呂六〇▲、呂六一▲、

呂六五、呂六六、呂六七、口伊五九▲  
伊六〇▲、伊六四▲、口伊六五▲、伊六六▲  
伊七三▲  
掃一三、掃一四、掃一六、口掃七、  
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、  
哨三八▲、哨三九▲  
敷島▲、室戸

【西戸崎】

野島  
伊二四▲、(伊二九)▲、(伊三九)▲

【長崎】

樫野  
芙蓉▲

【鎮海】

出雲、口安宅、橋立、二見、伏見、比良、  
熱海、鳥羽、勢多、壘田、保津、隅田、  
口足柄、占守、嵯峨、口名取、八丈、磐手、  
能登呂、口那智、羽黒、山城、木曾、勝力、  
栗、梅、蓮、刈萱、口春風、朝風、旗風、  
松風、口文月、皐月、水無月、長月、  
磯風、浦風、口朝顔

【航海中】

伊七二、口伊一、伊二、伊三、口伊七一、  
伊七二  
口鶴、鴻、隼、鴨、口雁、鳩、鷺、雉、  
口真鶴、初雁、友鶴、千鳥  
掃一七、掃一八  
石廊、鶴見、隠戸、佐多

【襟裳】

(三月二十七日吳發一桑港へ)  
驅潛一六(十四日博多發一佐世保へ)  
神威(十五日横須賀發一舞鶴へ)

(部 内 限)

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百七十三號

昭和十六年四月十七日(木)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第一六號ノ六一

昭和十六年四月十七日

海軍大臣

各鎮守府司令長官  
大湊、馬公、鎮海要港部司令官 殿

兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿機關長主管ノ部中左記ノ通改正ス

記

區別	類別	改正品名	舊品名
改正	電球之部	六〇W電球 一〇〇V 瓦斯入	六〇W電球 一〇〇V エ式
改正	電球之部	四〇W電球 一〇〇V エ式	四〇W電球 一〇〇V エ式

## ○通 牒

艦本機密兵電第五一八號

昭和十六年四月十七日

海軍艦政本部長

各海軍軍需部長殿

電球供給ニ關スル件通牒

四月十七日官房機密第一六號ノ六一ニ依リ各艦船部隊學校兵器簿中電球名稱改正相成候處之ガ供給ニ關シテハ左記ニ依ルベシ

記

一、現供用中ノ電球ハ自然消耗ヲ俟テ逐次新品ト引換フルモノトス

二、舊式電球ハ在庫限代用供給スルモノトス

新京海軍機密第三七號

昭和十六年四月七日

滿洲國在勤帝國大使館附海軍武官

關係各廳長殿

海軍側對在滿日本機關及滿側機關間連絡

海軍公報 (部内限) 第三千七百七十三號

昭和十六年四月十七日

四八三

1169

折衝事項ハ海軍武官府經由方照會

滿洲以外ノ海軍各廳ニ於テ在滿日本機關又ハ滿洲國政府或ハ在滿商社等ニ對シ當武官府ヲ經由セス直接ニ連絡折衝セララル向未タニ有之當方事務遂行竝ニ海軍トシテ先方トノ應酬折衝ノ統一上不都合ヲ感スルコト屢々ナルニ付自今斯種連絡折衝事項ハ當武官府ヲ經由スル様致サレ度  
追テ當武官府ヲ經由セサルコトニ別ニ定メアルモノハ此ノ限ニ非ス

○辭令

海軍大佐 篠田 勝清  
第一課勤務ヲ命ス(同日海軍省兵備局)

○雜款

○特務艦尻矢行動豫定  
地名 着 發  
横須賀 四月十六日 四月十六日  
鶴見 四月十六日 四月十六日  
横須賀 四月十六日 四月十六日  
四日市 四月十六日 四月十六日  
五月二十九日 五月二十九日

佐世保 五月四日 五日  
タラカン 五月十七日 二十日  
横須賀 六月二日

○ 艦船所在 ▲印ハ「ハカ」ノ 指定ヲ要セズ

○ 四月十七日午前十時

【横須賀】 春日▲、口赤城▲、劍崎▲、口香取▲、口瑞穂▲、

口蒼龍▲、口陸奥▲、長門▲、口比叡▲、口高雄▲、

愛宕▲、摩耶▲、駒橋▲、口五十鈴▲、口那珂▲、

口迅鯨▲、口夕張▲、口沖島▲、

五月雨▲、村雨▲、口響▲、雷▲、電▲、口朝雲▲、

峯雲▲、春雨▲、山雲▲、夏雲▲、澤風▲、

伊九▲、伊一五▲、伊一六▲、伊一七▲、

伊一二四▲、伊一二三▲、

宗谷▲、知床▲、

(翔鶴)▲、(津輕)▲、(伊二三)▲、(伊三三)▲、

(伊三七)▲、

【長浦】 國後▲、口多摩▲、

口嵐▲、萩風▲、沖風▲、口汐風▲、帆風▲、口潮▲、

口朧▲、曉▲、曙▲、漣▲、満潮▲、

呂六八▲、伊四▲、伊五▲、伊六▲、伊二〇▲、

伊一八▲、伊二二▲、伊七五▲、

伊一六▲、掃一▲、掃二▲、掃三▲、掃四▲、掃五▲、

口驅潜一▲、驅潜二▲、驅潜三▲、驅潜一三▲、

驅潜一四▲、驅潜一五▲、

哨一▲、哨二▲、

【鶴見】 尻矢▲、

【横濱】 鳥海▲、

口夕立▲、荒潮▲、口大潮▲、朝潮▲、

(香椎)▲、(筑紫)▲、

【浦賀】 嚴島▲、

濱風▲、(秋雲)▲、

石垣▲、

哨三四▲、哨三五▲、

【大湊】 大泊▲、

神風▲、野風▲、波風▲、沼風▲、

浅間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤▲、口鳳翔▲、

千代田▲、口日向▲、伊勢▲、口加古▲、青葉▲、

衣笠▲、口熊野▲、鈴谷▲、最上▲、三隈▲、妙高▲、

口鬼怒▲、初鷹▲、白鷹▲、口鹿島▲、長鯨▲、神道▲、

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、口夕霧▲、天霧▲、

口初霧▲、朝霧▲、口綾波▲、浦波▲、矢風▲、

口夏潮▲、親潮▲、口雪風▲、天津風▲、霞▲、不知火▲、

口吳竹▲、若竹▲、早苗▲、口白雲▲、東雲▲、叢雲▲、

呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八▲、

伊五三▲、伊五四▲、伊五五▲、伊五六▲、

伊五七▲、伊五八▲、伊六一▲、伊六二▲、

伊七〇▲、伊六八▲、伊六九▲、伊七四▲、

伊一二二▲、

掃一五▲、

口驅潜七▲、驅潜八▲、驅潜九▲、

哨四六▲、

朝日▲、間宮▲、攝津▲、早鞆▲、明石▲、野島▲、

口日進▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、

球磨▲、

舞風▲、磯波▲、黒潮▲、

(宇治)▲、(谷風)▲、

【神戶】 伊一二一▲、

【大阪】 舞風▲、磯波▲、黒潮▲、

(宇治)▲、(谷風)▲、

【神戸】 伊一二一▲、

海軍公報(部内限)第三千七百七十三號

昭和十六年四月十七日

四八五

【相生】 古鷹 (瑞鶴) (伊一〇) (伊一九) (伊二二) (伊二五) (伊三一) (伊良湖) ▲  
初風、時津風

【因島】 早潮、伊蔽、陽炎  
驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三

【舞鶴】 吾妻、大井、利根、筑摩、長良、蒼鷹、天龍、龍田

薄雲、秋風、夕風、太刀風、羽風  
呂六三、呂六四、伊五二

驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二

鳴戸 哨三六、哨三七 ▲

【佐世保】 (野分) (夕雲) ▲  
金剛、榛名、北上、飛龍、千歲、加賀、  
川内、阿武隈、霧島、八重山、瑞鳳、  
常磐、由良

夕月、峯風、菊月、卯月、若葉、  
初春、初霜、子日、有明、白露、時雨、  
夕暮、海風、山風、江風、涼風、  
三日月、追風、疾風、夕風、朝風、  
三月月、如月、望月、彌生

呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、  
呂三四、呂六二、呂六〇、呂六一、  
呂六五、呂六六、呂六七、伊五九 ▲

伊六四、伊六五、伊六六、伊七三 ▲  
掃一三、掃一四、掃一六、掃一七、  
掃一八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二

驅潛一六  
哨三八、哨三九 ▲

敷島、室戸  
伊二四、伊二九、伊三九 ▲

【長崎】

樫野、芙蓉 ▲  
出雲、安宅、橋立、二見、伏見、比良、  
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、岡田、  
足柄、占守、嵯峨、名取、八丈、磐手、  
能登呂、那智、羽黒、山城、木曾、勝力、  
栗、榎、蓮、刈萱、春風、朝風、旗風、  
松風、文月、皐月、水無月、長月、  
磯風、浦風

磯風、浦風  
伊七、伊一、伊二、伊三、伊七一、  
伊七二

伊七二  
鵠、鴻、隼、鴨、雁、鳩、鷲、雉、  
真鶴、初雁、友鶴、千鳥

掃一七、掃一八  
石廊、鶴見、隠戸、佐多

【航海中】  
襟裳 (三月二十七日吳發—桑港—)  
神威 (十五日横須賀發—舞鶴—)

(部 内 限)

海軍公報(部内限)第三千七百七十四號

海軍大臣官房

昭和十六年四月十八日(金)

○令 達

官房機密第三八二號ノ二  
本年官房機密第三八二號中左ノ通改正ス

昭和十六年四月十日

海 軍 大 臣

別表第一歳入徴收官及収入官吏並ニ收入取扱區分表中  
第一海軍經理部長ノ項收入區分ノ欄ヲ左ノ如ク改ム  
支那方面艦隊(海南警備府ヲ除ク)ノ官衙ノ收入及  
支那方面艦隊經費(支那方面艦隊ノ艦船部隊ノ支拂  
ニ屬スル經費、以下同シ)ノ返納金  
同表中第二海軍經理部長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海南海軍 海南警備府ノ官衙ノ  
經理部長 海南海軍 海南警備府ノ官衙ノ  
經理部部長 海南警備府ノ官衙ノ  
收入

別表第二支出官及同代理官並ニ所掌經費區分表中第一  
海軍經理部長ノ項所掌經費ノ欄中(第二遣支艦隊ヲ除  
ク)ヲ(海南警備府ヲ除ク)ニ改メ第二海軍經理部

長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海南海軍 海南警備府ノ官衙ノ  
經理部長 海南海軍 海南警備府ノ官衙ノ  
經理部部長 海南警備府ノ官衙ノ  
經費

同表備考第二號中「第二海軍經理部支部長」ヲ「海南  
海軍經理部支部長」ニ改ム

官房機密第三三五六號

臨時海軍購買名簿中別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配布セシム

昭和十六年四月十七日

海 軍 大 臣

官房第二〇五六號

海軍購買名簿中別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配布セシム

昭和十六年四月十七日

海 軍 大 臣

海軍公報(部内限)第三千七百七十四號

昭和十六年四月十八日

四八七

1173



○ 辭 令

海軍技術會議議員海軍大佐 有馬 正文

海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス

(各通)

海軍一等兵曹 篠崎 正治

海軍一等水兵 中村 鐵也

廣州灣佛國租借地へ出張ヲ命ス(以上均海軍省)

○ 雜 款

○ 將旗掲揚

第四航空戰隊司令官ハ四月十四日將旗ヲ龍驤ニ掲揚セリ

○ 將旗一時移揚

第三潜水戰隊司令官ハ四月八日一時將旗ヲ伊號第八潜水艦ニ移揚、同十三日五十鈴ニ復歸セリ

○ 將旗復歸

第二水雷戰隊司令官ハ四月十五日將旗ヲ神通ニ復歸セリ

○ 司令驅逐艦指定

第四驅逐隊司令ハ四月一日嵐ニ指定セリ

○ 司令驅逐艦一時變更

第十八驅逐隊司令ハ四月十三日司令驅逐艦ヲ一時蔽ヨリ不知火ニ變更セリ

○ 司令潜水艦一時變更

第二十八潜水隊司令ハ司令潜水艦ヲ一時伊號第五十九潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ

○ 司令水雷艇復歸

第十一水雷隊司令ハ三月二十八日司令水雷艇ヲ鳩ヨリ雁ニ復歸セリ

○ 司令驅潛艇變更

第二驅潛隊司令ハ四月四日司令驅潛艇ヲ第十三號驅潛艇ヨリ第十五號驅潛艇ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

第二十四航空戰隊司令部宛

横濱海軍航空隊司令部

當分ノ間

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月十八日午前十時

【横須賀】

春日、赤城、劍埼、香取、瑞穂、蒼龍、陸奥、長門、比叡、高雄、愛宕、摩耶、駒橋、五十鈴、那珂、迅鯨、夕張、沖島

五月雨、村雨、響、雷、朝雲、春雨、山雲、夏雲、澤風、伊九、伊一五、伊一六、伊一七、伊一二四、伊一二三

【長浦】

國後、多摩、萩風、沖風、沙風、帆風、潮、廳、曉、曙、漣、滿潮、呂六八、伊四、伊五、伊六、伊二〇、伊一八、伊二二、伊七五

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、驅潛一、驅潛二、驅潛三、驅潛一三、驅潛一四、驅潛一五、哨一、哨二

【鶴見】

尻矢、島海、夕立、荒潮、大湖、朝潮、香椎、筑紫

【浦賀】

巖島、濱風、秋雲

【四日市】

早鞆、石垣、神風、野風、波風、沼風、哨三四、哨三五

【函館】

淺間、扶桑、八雲、大鯨、龍驤、鳳翔、千代田、日向、伊勢、最上、三隈、青葉、衣笠、熊野、鈴谷、長鯨、神通、鬼怒、初鷹、白鷹、鹿島、長鯨、神通、初雪、白雪、吹雪、夕霧、天霧、狹霧、朝霧、綾波、敷波、浦波、矢風、夏潮、親潮、黑潮、雪風、天津風、霞、不知火、吳竹、若竹、早苗、白雲、東雲、叢雲

呂五七、呂五八、呂五九、伊八、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊七〇、伊六八、伊六九、伊七四、掃一五、驅潛七、驅潛八、驅潛九、哨四六

【大阪】

朝日、間宮、攝津、明石、野島、日進、伊二七、伊三五、球磨、舞風、磯波

海軍公報(部内限)第三千七百七十四號

昭和十六年四月十八日

四八九

【神戶】(宇治)▲(谷風)▲  
伊一二▲  
(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二一)▲  
(伊二五)▲(伊三一)▲(伊良湖)▲

【相生】古鷹  
初風、時津風  
伊六〇

【因島】早潮、口掖、陽炎  
驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三  
哨三一、哨三二、哨三三

【舞鶴】吾妻▲、大井▲、利根、筑摩、口長良、蒼鷹、天龍、龍田

薄雲▲、口秋風、夕風、太刀風、羽風  
口呂六三、口呂六四、伊五一  
口驅潛四、驅潛五、驅潛六、口驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二  
哨三六▲、哨三七▲  
鳴戸

【佐世保】(野分)▲(夕雲)▲  
金剛▲、榛名▲、北上▲、飛龍▲、千歳、口加賀、  
口川内、口阿武隈、霧島、八重山▲、口瑞鳳、  
常磐、由良

夕月▲、峯風▲、口菊月、卯月、口若葉、  
初春、初霜、子日、口有明、白露、時雨、  
夕暮、口海風、山風、江風、涼風、  
三日月、口追風、疾風、夕風、朝風、  
口睦月、如月、望月、彌生  
口呂三〇▲、口呂三一▲、口呂三二▲、口呂三三、

呂三四、口呂六二、呂六〇、呂六一、  
口呂六五、口呂六六、呂六七、伊五九▲、  
伊六四▲、口伊六五▲、伊六六▲、伊七三▲  
掃一三、掃一四、掃一六、口掃七、  
掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二  
驅潛一六  
哨三八▲、哨三九▲  
敷島▲、室戸

【長崎】櫻野  
(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【鎮海】芙蓉▲

【清津】朝顔

【作業地】口出雲、口安宅、橋立、二見、伏見、比良、  
熱海、鳥羽、勢多、壁田、保津、隅田、  
口足柄、口占守、磯崎、口名取、八丈、磐手、  
能登呂、口那智、羽黒、山城、木曾、勝力、  
栗、梅、遠、刈萱、口春風、朝風、旗風、  
松風、口文月、阜月、水無月、長月、  
口磯風、浦風

口伊七、口伊一、伊二、伊三、口伊七一、  
伊七二

口鶴、口鴻、口筆、口鶴、口雁、鳩、鷺、雉、  
口真鶴、口初雁、友鶴、口千鳥

掃一七、掃一八  
石廊、鶴見、隱戸、佐多

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港—)  
神威 (十五日橫須賀發—舞鶴—)

# 海軍公報

(部内限) 第三千七百七十五號

昭和十六年四月十九日(土)

海軍大臣官房

## ○ 辭令

遞信局技師 荻野 泰男

岡本 連

早川 勝夫

矢幡 孝一

白田 誠二

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

鈴木 恒太郎

田澤 徳太郎

横山 涉

山本 昌造

内田 勳夫

飯牟禮 俊徳

佐藤 進太郎

鶴岡 信夫

水上 純一

宗田 登

從四位勳四等

(各通)

(各通)

川崎 元近  
廣田 實

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上<sup>昭和十六年四月十九日</sup>海軍省)

第四課勤務ヲ命ス 海軍主計中尉 藤原 英三

(各通)

第二課勤務ヲ命ス 海軍主計中尉 春日 紀三夫

第四課勤務ヲ命ス(以上<sup>昭和十六年四月十九日</sup>海軍省經理局) 同 安川 泰

總務部第二課勤務ヲ命ス(以上<sup>昭和十六年四月十九日</sup>海軍航空本部) 同 瓜谷 敏郎

## ○ 雜款

○將旗掲揚  
第八戰隊司令官ハ四月十七日將旗ヲ利根ニ掲揚セリ

(部内限)

海軍公報(部内限) 第三千七百七十五號

昭和十六年四月十九日

四九二

1177

○司令驅潛艇一時變更  
第二驅潛隊司令ハ四月十五日及同十六日司令驅潛艇ヲ  
一時第十四號驅潛艇ニ變更孰モ同日第十五號驅潛艇ニ  
復歸セリ

○郵便物發送先  
當部宛郵便物ハ四月二十五日迄ニ到着見込ノモノハ從  
來通トシ其ノ後ハ左ニ依リテ度

普通郵便物

航空郵便 佐世保郵便局經由第八海軍軍用郵便所氣付

臺灣方面ヨリノ分ハ 博多郵便局經由第八海軍軍用郵便所氣付

臺北武官室經由第八海軍軍用郵便所氣付  
(海南海軍經理部)

當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

記

普通郵便 佐世保郵便局氣付

航空郵便 第八海軍軍用郵便所氣付  
(海南海軍通信隊)

○特技兵銓衡試驗問題發送  
操舵術特技兵銓衡試驗問題 本月十六日左記ノ通發  
應急術特技兵銓衡試驗問題

送濟

記

一、聯合試驗參加不能ト認メラルル向ニハ直接、其ノ  
他ハ橫須賀、吳、佐世保海軍人事部長宛送付セリ  
二、行動其ノ他ノ都合ニ依リ臨時必要ノ分トシテ若干  
部數前項各官宛送付シアリ  
未着ニシテ所要ノ向ハ海軍航海學校ニ通知相成度  
(海軍航海學校)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○四月十九日午前十時

【横須賀】

春日、赤城、劍埼、香取、瑞穂、蒼龍、陸奥、長門、比叡、高雄、愛宕、摩耶、駒橋、五十鈴、那珂、迅鯨、夕張、沖島、北上、那智、羽黒、山城、木曾

五月雨、村雨、響、雷、電、朝雲、峯雲、春雨、山雲、夏雲、澤風

伊九、伊一五、伊一六、伊一七、伊一二四、伊一二三

宗谷、知床、尻矢

翔鶴、津輕、伊三三、伊三三、伊三七

【長浦】

國後、多摩

嵐、秋風、沖風、沙風、帆風、潮、隼、曉、曙、漣、滿潮

呂六八、伊四、伊五、伊六、伊二〇、伊一八、伊二三、伊七五

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、驅潜一、驅潜二、驅潜三、驅潜一五、驅潜一三、驅潜一四

哨一、哨二

【横濱】

鳥海

夕立、荒潮、大潮、朝潮、香椎、筑紫

【浦賀】

嚴島、濱風、秋雲

【四日市】

早鞆

【大湊】

石垣、神風、野風、波風、沼風、哨三四、哨三五

【函館】

大泊

【吳】

淺間、扶桑、八雲、大鯨、龍驤、鳳翔、千代田、日向、伊勢、加古、青葉、衣笠、熊野、鈴谷、最上、三隈、妙高、鬼怒、初鷹、白鹿島、長鯨、神通、初雪、吹雪、夕霧、天霧、狹霧、朝霧、綾波、浦波、矢風、夏潮、親潮、黑潮、雪風、天津風、不知火、霞、吳竹、若竹、早苗、白雲、東雲、叢雲

呂五七、呂五八、呂五九、伊八、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊六一、伊六二、伊七〇、伊六八、伊六九、伊七四、掃一五

驅潜七、驅潜八、驅潜九、哨四六

朝日、間宮、攝津、明石、野島、樫野、日進、伊二七、伊三五、球磨、磯波

【大匠】

球磨、磯波

海軍公報(部内限)第三千七百七十五號

昭和十六年四月十九日

四九三

1179

【神戶】

(宇治)▲(谷風)▲

伊一二▲

(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二二)▲  
(伊二五)▲(伊三一)▲(伊良湖)▲

【相生】

古鷹  
初風、時津風

伊六〇

【因島】

早潮、口叢、陽炎

【佐伯】

驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三  
哨三一、哨三二、哨三三

【舞鶴】

吾妻▲大井▲利根▲筑摩▲口長良▲蒼鷹▲  
天龍▲龍田▲神威▲  
薄雲▲口秋風▲夕風▲太刀風▲羽風▲  
呂六三、呂六四、伊五二  
驅潛四、驅潛五、驅潛六、口驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二  
哨三六▲哨三七▲  
鳴戸

【佐世保】

(野分)▲(夕雲)▲

【金剛】

榛名▲飛龍▲千歲▲口加賀▲  
川内▲阿武隈▲霧島▲八重山▲口瑞鳳▲  
常磐▲由良▲  
夕月▲峯風▲口菊月▲卯月▲口若葉▲  
初春▲初霜▲子日▲口有明▲白露▲時雨▲  
夕暮▲口海風▲山風▲江風▲涼風▲  
三日月▲口追風▲疾風▲夕風▲朝風▲  
口睦月▲如月▲望月▲彌生▲  
呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂三三▲

【鎮海】

芙蓉▲  
(伊二四)▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【雄基】

朝顔▲  
出雲▲口安宅▲橋立▲二見▲伏見▲比良▲  
熱海▲鳥羽▲勢多▲堅田▲保津▲岡田▲  
口足柄▲古守▲嵯峨▲口名取▲八丈▲磐手▲  
能登▲呂勝▲力▲  
栗▲梅▲蓮▲刈萱▲口春風▲朝風▲旗風▲  
松風▲口文月▲皐月▲水無月▲長月▲  
磯風▲浦風▲  
伊七二  
伊七一

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港) ( )  
室戸 (十八日佐世保發—作業地) ( )

口鶴▲鴻▲隼▲鴨▲口雁▲鳩▲鷲▲雉▲  
掃一七、掃一八  
石廊▲鶴見▲隱戸▲佐多

# 海軍公報 (部内限) 第三千七百七十六號

昭和十六年四月二十一日(月) 海軍大臣官房

## ○令 達

官房第二〇六一號  
當分ノ間獻納兵器ノ命名式ニ關シ左ノ通定ム

海軍大臣

昭和三十六年四月十七日

海軍大臣

第一條 獻納兵器ノ命名式ヲ舉行セントスルトキハ概  
ネ命名式一月前左ノ事項ヲ關係ノ鎮守府司令長官艦  
隊司令長官又ハ要港部司令官(以下關係ノ司令長官  
又ハ司令官ト稱ス)ニ訓令ス

一 命名式舉行日時及場所  
二 命名セラルベキ兵器ノ種類、數、報國號ノ名稱  
及番號並ニ獻納者(代表者)ノ住所氏名  
三 海軍大臣代理(必要アル場合)  
四 其ノ他必要ナル事項

第二條 關係ノ司令長官又ハ司令官ハ前條ノ訓令ニ基  
キ命名式委員長及命名式行事擔當主務廳ヲ指定シ命  
名式ヲ舉行セシムルモトス

第三條 命名式委員長ハ關係各部ト協議シ左ノ各號ニ  
依リ命名式實施方案ヲ定メ報告又ハ通報シ所定期日  
ニ命名式ヲ舉行スルモノトス

一 命名式次第(神事ヲ含ム)ニ關スル事項

二 命名式式場ノ施設及準備ニ關スル事項

三 獻納兵器ヲ以テスル作業ニ關スル事項

四 命名式關係役員ニ關スル事項

五 招待及接待ニ關スル事項

六 式場ノ警戒取締及機密保持ニ關スル事項

七 命名式實施ニ關スル新聞發表、放送其ノ他宣傳  
普及ニ關スル事項

第四條 關係各部ハ命名式委員長ノ協議ニ應ジ其ノ本  
務ニ支障ナキ限リ人員、器材、施設其ノ他ニ付必要  
ナル協力ヲ與フルモノトス

第五條 命名式ニ於テ飛行作業又ハ獻納兵器ヲ以テス  
ル諸作業ヲ實施スル場合ハ左ノ各號ニ依ル

一 飛行作業  
(イ) 關係ノ司令長官又ハ司令官ハ委員長ノ協議ニ

海軍公報(部内限) 第三千七百七十六號

昭和十六年四月二十一日

四九五



應シ所屬ノ航空隊又ハ艦船ヲシテ獻納飛行機及  
命名式參加飛行機又ハ飛行隊ヲ所要時期迄ニ所  
要ノ場所ニ準備シ命名式終了後之ヲ復歸セシム  
ルモノトス

(ロ) 命名式ニ於ケル飛行作業ハ獻納飛行機ノ威容  
ヲ獻納者ニ展觀セシムルト共ニ式場附近ノ住民  
ニ之ヲ顯示セシムルヲ目的トシ委員長ノ協議ニ  
應ジ關係航空隊、母艦又ハ搭載艦ニ於テ之ヲ計  
畫實施スルモノトス

(ハ) 飛行作業關係員ノ派遣及行動ハ關係航空隊、  
母艦又ハ搭載艦ニ於テ之ヲ定メ委員長ニ通報ス  
二 獻納兵器ヲ以テスル諸作業

前號ニ準ジ之ヲ計畫實施スルモノトス  
三 當日天候其ノ他ノ事由ニ依リ前各號ノ作業ヲ實  
施シ得ザル場合ニハ命名式後成ルベク速キ時期ニ  
之ヲ實施スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ委員長ハ  
前各號ニ準ジ所要ノ手續ヲ爲スモノトス

第六條 命名書、海軍大臣謝辭、受納書、兵器目錄及  
記念繪葉書ハ海軍省軍務局ニ於テ之ヲ準備シ命名式  
十日前途ニ委員長ニ送付スルモノトス

第七條 命名式ニ於ケル參列者ニ對スル接待等ニ關シ

テハ概ネ左ノ標準ニ依リ委員長之ヲ實施スベシ  
一 招待者  
茶葉(記念品ヲ以テ代フルコトヲ得)及記念繪葉  
書ノ贈呈

二 其ノ他ノ參列者  
特ニ接待等ヲ行ハザルモノトス  
第八條 命名式場ニ於ケル寫眞撮影又ハ模寫ハ別ニ規  
定アルモノノ外委員長ハ左ノ各號ニ依リ處理スルコ  
トヲ得

一 寫眞撮影  
(イ) 軍極祕兵器(獻納兵器以外ノ兵器ヲ含ム)  
禁止ス但シ九六式(含ム)以前ノ兵器ニ在リテ  
ハ特定ノ者ニ限り許可スルコトヲ得此ノ場合ニ  
於テハ寫眞檢閲ヲ行ヒ許可シタルモノノミ發表  
セシムルモノトス

(ロ) 兵器ヲ含マザル一般式場  
特定ノ者ニ限り許可スルコトヲ得但シ此ノ場合  
ニ於テハ前項ニ準ジ寫眞檢閲ヲ行フモノトス

二 模 寫  
禁止ス

第九條 獻納兵器ノ要目及性能ノ發表ニ關シテハ別ニ

規定アルモノノ外左ノ各號ニ依ル

一 要目 昭和十一年六月二十二日内令兵第三十號

ニ依ル

二 性能 公表セズ

第十條 委員長ハ命名式場ノ使用、施設、保安警戒等

ニ關シテハ部外關係官憲其ノ他ト密接ニ連絡シ行事ノ圓滑ナル實施ヲ圖ルモノトス

第十一條 命名式委員長ハ命名式舉行ニ要スル經費ニ關シ一括取纏メ海軍省經理局長ニ協議スベシ

第十二條 委員長ハ命名式終了後經過概要ニ所見ヲ附シ報告關係各部ニ通報スルモノトス

官房機密第二八〇一號ノ三

昭和十六年官房機密第二八〇一號ニ左記ヲ加フ

昭和十六年四月二十一日

海軍大臣

本令ハ昭和十六年三月一日ヨリ之ヲ適用ス

(參照) 昭和十六年官房機密第二八〇一號ハ第四海軍氣象部ノ經費掌理區分ニ關スル件ナリ

官房機密第三四六四號

本年四月二十一日現在左記上欄各部ノ職名ヲ有スル者

ハ特ニ發令セラルルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下欄ノ相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和十六年四月二十一日

海軍大臣

記

海軍火藥本廠

第二海軍火藥廠

(從前ノ火藥部ハ製造部トス)

海軍火藥支廠

第一海軍火藥廠

(從前ノ火藥部ハ第一製造部、第二製造部トス)

海軍燃料廠

第三海軍燃料廠

(從前ノ製油部ハ精製部トス)

○ 遷 牒

官房第二二三一號

海軍省 昭和十六年四月二十一日

則登載

海軍省 副官

各廳長殿

伊勢神宮大麻授與ノ件申進

伊勢神宮ニ於テハ艦船部隊等ヨリ希望アル場合ハ左記ニ依リ神宮大麻ヲ授與セラルルニ付了知相成度

記

海軍公報(部内限)第三千七百七十六號

昭和十六年四月二十一日

四九七

區分		手	續
艦船(特設艦船ヲ含ム)		各所轄長ヨリ直接神宮神部署長(宇治山田市)宛照會ス	
永久奉齋所アル陸上部隊、官術、學校(特設部隊、特設官術ヲ含ム)		各所轄長ヨリ海軍省副官ヲ經由神宮神部署長宛照會ス	
備			
一、大麻授與ノ際ハ適當ナル拜受者ヲ派遣スルヲ例トス			
二、所轄長ヨリノ照會ハ希望授與期日ノ約一箇月前(海軍省副官經由ノモノハ約一箇月半前)ニ行フモノトス			
考			
三、大麻拜受ノ際ノ御禮ハ適宜トス			
官房機密第三四六五號			
昭和十六年四月二十一日			
海軍省副官			
各廳長殿			
所在地區別符及部隊區別符表ニ關スル件			
申進			
首題符表中左記ノ通改メラレ候			

  

記	
一、所在地區別符表中追加	
小笠原諸島	貳參
父島	貳四
母島	貳五
八丈島	貳六
硫黃島	貳七
南鳥島	貳八
二、部隊區別符表中追加	
潜水隊基地	壹四

追テ左記所在地區別符ハ工事名稱トシテ使用スルモノニシテ郵便物宛名ニハ使用セザルモノト了知アリ

昭和十五年軍務二機密第一〇〇六號  
 参照 同 年同 第一〇〇八號  
 昭和十六年官房機密第三〇九一號

經物第一〇三號

昭和十六年四月十四日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

價格等統制令施行規則第二條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ申請書ニ關スル件通牒

昭和十六年四月十二日商工省農林省厚生省告示第一號ヲ以テ價格等統制令施行規則第二條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ申請書ニシテ地方長官ヲ經由セザルモノヲ定メラレ候處右ノ申請及同告示第一號ノ規定ニ依ル軍ノ證明書ニ關シテハ左ノ通ト承知相成度

一 納入者又ハ究極ニ於テ海軍ニ納入セラルベキ物品ノ賣買當事者ヲシテ申請ヲ爲サシムルコト

二 證明書ハ契約擔任官之ヲ發給シ左ノ事項ノ證明ヲ爲スコト

イ 當該物品ハ海軍ガ購入スルモノナルコト

ロ 豫定購入價格及豫定購入數量

(參考添付)

商工省  
農林省  
厚生省  
告示第一號

海軍公報(部内限)第三千七百七十六號

昭和十六年四月二十一日

四九九

價格等統制令施行規則第二條第二項ノ規定ニ依リ主務大臣ニ提出スベキ申請書ニシテ地方長官ヲ經由セザルモノ左ノ通定ム

昭和十六年四月十二日

商工大臣 豐田貞次郎  
農林大臣 石黒忠篤  
厚生大臣 金光庸夫

一 官廳若ハ軍ニ販賣スル場合ニ於ケル申請書又ハ軍ニ販賣スルコトヲ明カニシタル軍ノ證明書ヲ添附セル申請書

(以下略)

經盤一第五五號

支出官計算證明證書調理様式七號罫紙及資金前渡官吏計算證明證書調理様式九號罫紙乙ノ様式ヲ別表ノ通改ム

昭和十六年四月十九日

海軍省經理局長

(別表添)

○ 辭 令

海軍公報(部内限)第三千七百七十六號 昭和十六年四月二十一日

五〇〇

(各通)

海軍造船學生ヲ命ス

(各通)

渡邊修治	竹内晃	大賀秀輝	清水龍男	大城永幸	堀田知道	川嶋榮一	村上正孝	横山信立	橋木敏郎	平岡靖章	杉山忠博	本多孝	山内忠	森本智一	賞吉郁	坂田和年	山内利夫	辻好三	竹内榮一
------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	-----	------	------	-----	------

海軍造機學生ヲ命ス

東常廣	伊藤高	府瀬川健藏	田中豊	太田忠尙	竹村春次	後藤憲三	鈴木成一	高橋正義	有坂勝	山下博	司城不二	丸山洋一	末永一郎	坂本弘	伊東祐一	水島容二郎	木村清茂	保坂義信	佐藤慶
-----	-----	-------	-----	------	------	------	------	------	-----	-----	------	------	------	-----	------	-------	------	------	-----

(各通)

木村 眞  
滿野 圭二  
田中 宏  
飯森 正康  
山田 健一  
大坂 光彦  
岩城 隆明  
小林 成彬  
植田 信雄  
酒見 俊美  
堀島 隆  
堀島 弘  
國本 隆  
豊田 令一  
久保 實  
加藤 正明  
梅根 定  
鳥居 亮

海軍造兵學生ヲ命ス

(各通)

高岩 和雄  
井手 宣三郎  
松村 安雄  
寺本 昌雄  
藤澤 光治  
後藤 道秀  
鈴木 弘毅  
岩淵 雄次  
小高 義孝  
須藤 勉  
松本 大  
野本 明  
吉武 三郎  
鈴木 聰  
坂本 勲  
村山 義夫  
西田 敏捷  
鈴木 伊智男  
戸田 仁志  
續木 潜

海軍造船生徒ヲ命ス

(各通)

海軍造船機生徒ヲ命ス

山	山	荒	山	竹	畑	澤	武	本	神	鈴	橋	東	成	松	山	山	齋	山	波	松
畧	村	卷	西	西	近	居	居	原	田	木	森	家	田	本	田	田	藤	田	部	居
恒	秀	誠	貞	貞	誠	忠	忠	明	卓	啓	勇	謙	俊	研	豐	有	文	美	幸	良
男	雄	吾	雄	雄	輝	大	大	爾	爾	郎	勇	之	雄	三	治	人	雄	夫	朗	朗

(各通)

山	山	内	西	佐	佐	金	宮	岡	武	寒	加	木	海
田	田	貴	岡	成	成	矢	本	部	下	川	藤	村	軍
昇	正	正	英	正	正	周	勝	功	勘	充	茂	裕	省
	夫	夫	也	治	晃	藏	敏	功	治	夫	男	裕	省

海軍造船兵生徒ヲ命ス(以上皆海軍省)  
 海軍主計兵曹長 近藤 文藏  
 美幌海軍航空隊殘留隊ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ  
 爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(謂支出官  
 軍省經理局長)

○ 雜 款

○郵便物發送先  
當隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度

當分ノ間 記

高雄海軍航空隊氣付

海軍龜井部隊

(第三航空隊)

○郵便物發送先變更  
軍艦警手司令部宛郵便物ハ自今左記ニ依リ發送相成度

佐世保郵便局氣付

北支艦隊司令部

(第三遣支艦隊司令部)

○小笠原島ニ於ケル海軍軍人軍屬ノ第二種軍裝着用期  
日ヲ五月十二日(月)ヨリトス

(父島海軍航空隊司令)

海軍少佐從六位勳五等下川万兵衛本月十七日實驗  
飛行中遭難殉職、本二十一日午前九時三十分横須  
賀海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

海軍公報(部内限)第三千七百七十六號 昭和十六年四月二十一日

五〇三



(別表)

(昭和十六年四月二十二日海軍公報(部内限))

合計				又部 ハ工 事別 別	至自		工 員 (人夫) 賃 錢 區 分 表	備 考
					年 月 日	年 月 日		

備考  
退職手當及定期賞與ヲ含ムトキハ其ノ金額及支給ノ標準ヲ備考ニ附記スベシ

○ 艦船所在

▲印ハ「ハカ」ノ指定ヲ要セズ

○四月二十一日午前十時

【横須賀】

春日▲、口赤城▲、口劍埼▲、口香取▲、口瑞穂▲、  
 陸奥、長門、口比叡、口高雄、愛宕、  
 摩耶、鳥海、駒橋、口五十鈴、口那珂▲、  
 迅鯨、北上、口那智、羽黒、山城、木曾、  
 五月雨、村雨、口響、雷▲、電▲、口朝雲、  
 峯雲、春雨、山雲、夏雲、澤風、  
 伊九、口伊一五、伊一六、伊一七▲、  
 伊一二四、伊一二三、  
 宗谷、知床、尻矢

【長浦】

國後▲、口多摩▲、  
 口嵐▲、萩風、沖風▲、口汐風、帆風、口潮、  
 龍、曉、曙、漣、  
 呂六八、口伊四、伊五▲、伊六▲、口伊二〇、  
 伊一八、伊二三▲、口伊七五▲、  
 口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、  
 口驅潜一、驅潜二、驅潜三、口驅潜一五▲、  
 驅潜一三▲、驅潜一四▲、  
 哨一▲、哨二▲

【石川島】

荒潮、  
 口夕張、  
 口夕立、口大潮、朝潮、満潮、  
 (香椎)▲、(筑紫)▲

【浦賀】

【大湊】

▲嚴島、口沖島、  
 (濱風)▲、(秋雲)▲、  
 石垣▲、  
 口神風、野風、波風、沼風、  
 哨三四▲、哨三五▲、  
 大泊

【吳】

淺間▲、扶桑▲、八雲▲、大鯨▲、口龍驤、鳳翔、  
 千代田、口日向、伊勢、口加古、青葉、  
 古鷹、衣笠、口熊野、鈴谷、最上、三隈、  
 妙高、口鬼怒、初鷹、白鷹、口鹿島、長鯨、  
 神通

口初雪▲、白雪▲、吹雪▲、口夕霧、天霧、  
 狹霧、朝霧、口綾波、敷波、浦波、矢風、  
 口夏潮、親潮、黒潮、早潮、口雪風、天津風、  
 口霞、陽炎、不知火、霞、口吳竹、若竹、  
 早苗、口白雲、東雲、叢雲

口呂五七▲、呂五八▲、呂五九▲、伊八、  
 口伊五三▲、伊五四、伊五五▲、口伊五六、  
 伊五七▲、伊五八▲、口伊六一、伊六二、  
 伊七〇、伊六八▲、伊六九▲、口伊七一、  
 伊七二、伊七四▲、口伊一二一▲、  
 掃一五、  
 口驅潜七、驅潜八、驅潜九、  
 哨四六▲

【大阪】

朝日、間宮、攝津、明石、樫野、  
 (日進)▲、(伊二七)▲、(伊三五)▲、  
 球磨▲、  
 舞風、磯波

海軍公報(部内限)第三千七百七十六號

昭和十六年四月二十一日

五〇五

【神戶】

(宇治)▲(谷風)▲  
伊一二一▲  
(瑞鶴)▲(伊一〇)▲(伊一九)▲(伊二一)▲  
(伊二五)▲(伊三二)▲(伊良湖)▲

【玉】

初風、時津風  
伊六〇

【佐伯】

驅潛五一、驅潛五二、驅潛五三  
哨三一、哨三二、哨三三

【舞鶴】

吾妻▲大井▲利根、筑摩、口長良、蒼鷹、  
天龍、龍田、神威、  
薄雲▲口秋風、夕風、太刀風、羽風、  
呂六三、呂六四、伊五一  
驅潛四、驅潛五、驅潛六、驅潛一〇、  
驅潛一一、驅潛一二  
哨三六▲哨三七▲  
鳴戸

【佐世保】

(野分)▲(夕雲)▲  
金剛▲榛名▲飛龍▲千歲、口加賀、  
口川内、口阿武隈、霧島、八重山、口瑞風、  
常磐、由良、  
峯風▲口若葉、初春、初霜、子日、  
口有明、白露、時雨、夕暮、口海風、山風、  
江風、涼風、三日月、口追風、疾風、  
夕風、朝風、口陸月、如月、望月、彌生、  
呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂三三▲  
呂三四▲呂六二▲呂六〇▲呂六一▲  
呂六五▲呂六六▲呂六七▲伊五九▲  
伊六四▲伊六五▲伊六六▲伊七三▲

【西戸崎】

野島  
伊二四▲(伊二九)▲(伊三九)▲

【鎮海】

芙蓉▲

【雄基】

朝顔  
出雲、口安宅、橋立、二見、伏見、比良、  
熱海、鳥羽、勢多、堅田、保津、隅田、  
口足柄、占守、嵯峨、口名取、八丈、口磐手、  
能登呂、勝力、口蒼龍

【作業地】

栗、梅、蓮、刈萱、口春風、朝風、旗風、  
松風、口文月、卓月、水無月、長月、  
磯風、浦風、夕月、口菊月、卯月、  
口伊七、口伊一、伊二、伊三

【航海中】

襟裳 (三月二十七日吳發—桑港へ)  
早朝 (十九日四日市發—佐世保へ)  
鶴見 (二十日「タラカン」發—佐世保へ)  
口真鶴、初雁、友鶴、千鳥、  
口鶴、鴻、隼、鴨、口雁、鳩、鷺、雉、  
掃一七、掃一八  
石廊、隱戸、佐多、室戸